



## マーケット・ウォッチ 2021年9月号

### 1. 先月の回顧と今後の相場見通し（要旨）

#### <先月の回顧>

##### ① 株式市場

日経平均株価は前月比+805円上昇（騰落率+2.95%、月末終値 28,089円）。月初の株価は4~6月決算の好調な企業業績から堅調に推移したが、デルタ型のコロナ感染急拡大から20日の日経平均株価は27,013円まで下落し、年初来安値を更新。その後、FRB（米連邦準備理事会）議長の利上げ慎重姿勢などを材料に、日経平均株価は月間では3か月ぶりに上昇。9月3日には菅首相の辞任報道から、日経平均株価は前日比+600円弱の大幅高。

##### ② 為替市場

米ドル円相場は1ドル110円を挟み狭いレンジで推移（騰落率+0.33%、月末気配 1ドル110円00銭）。FRB幹部の早期テーパリング（金融資産の購入縮小）を求める意見などから円安ドル高傾向で推移したが、13日の8月ミシガン消費者信頼感指数が、約10年ぶりの低水準となったことで1ドル109円11銭まで円高進行。その後は109円台の後半でもみ合いの展開。

##### ③ 債券市場

日本10年国債利回りは、前月比+0.005%上昇（月末値 0.020%）。新型コロナ変異株の感染急拡大による景気下振れ懸念から、日銀の大規模な金融緩和政策の長期化見込を背景に、長期金利は低位でのみ合いに終始。8月の新発10年物国債の売買高は、約21年ぶりの低水準となった5月に次ぐ閑散状態。

#### <今後の相場見通し>

##### ① 株式市場

日経平均株価は乱高下の後、年末に向けじり高を予想。首相交代による閉そく感の解消期待およびコロナ新規感染者数のピークアウト観測から一時的な株価上昇を想定するが、首相（自民党総裁）候補の乱立で「短命政権の再来」とのイメージが強まれば調整局面の可能性あり。衆院選後に具体化する補正予算およびワクチン希望者への接種完了を目処に、出遅れ感の強い日本株への資金流入を見込む。

（今月の予想レンジ）日経平均株価 27,500 ~ 30,500円 NYダウ 34,500 ~ 36,500ドル

##### ② 為替市場

米ドル円相場は緩やかな円安ドル高推移を予想。日米景況感の格差から円高リスクが後退するなか、アフガニスタン情勢の悪化および景気の回復が想定より遅れる可能性の高まりからドルの上値は重く、狭いレンジでの米ドル高円安基調を想定。

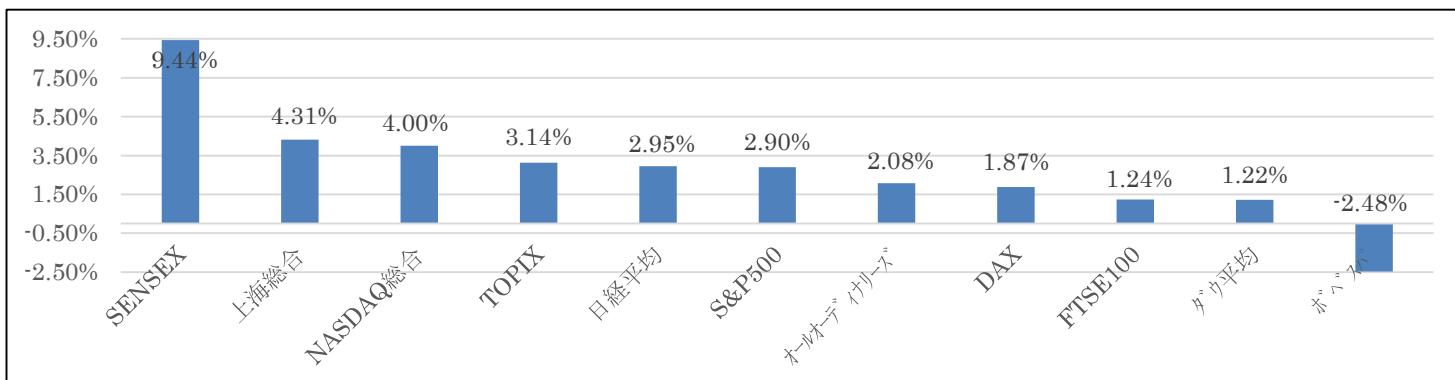
（今月の予想レンジ）米ドル円 108 ~ 112円 ユーロ円 128 ~ 132円

##### ③ 債券市場

日本10年国債利回りは、レンジ内推移を予想。コロナデルタ株の感染急拡大による緊急事態宣言の対象地域の増加から、国内景気の下押懸念が高まっており、長期金利の低位安定推移の継続を想定。

（今月の予想レンジ）日本10年国債利回り 0.00 ~ 0.05% 米国10年国債利回り 1.20 ~ 1.50%

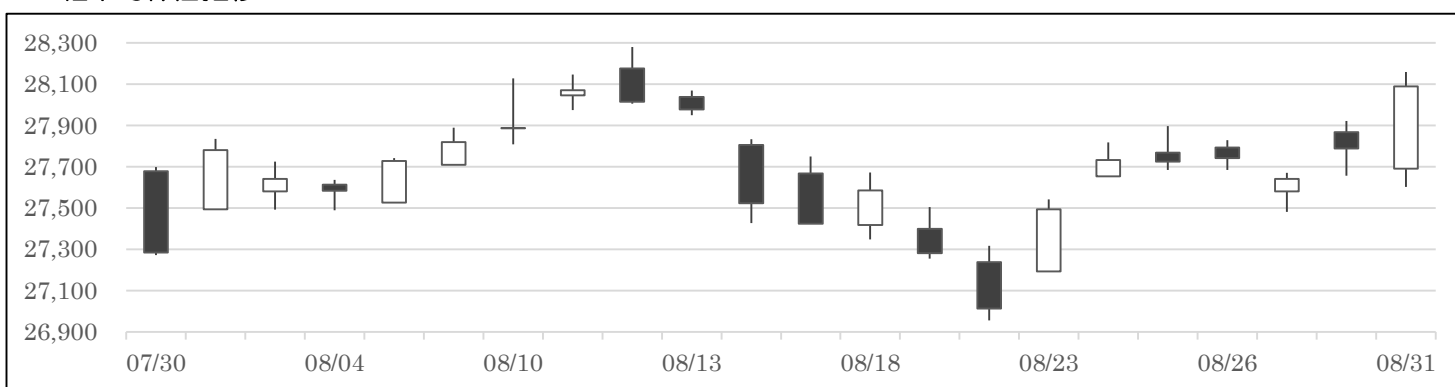
## 2. 株式 < 主要株式指標 前月騰落率 >



## < 主要株式指標 月末終値 >

日経平均	TOPIX	NYダウ	S&P500	NASDAQ	DAX	FTSE100	オーストラリア・インデックス	上海総合	ホンコン	SENSEX
日本	日本	アメリカ	アメリカ	アメリカ	ドイツ	英国	オーストラリア	中国	ブラジル	インド
28,089.54	1,960.7	35,360.73	4,522.68	15,259.235	15,835.09	7,119.7	7,823.3	3,543.9402	118,781.03	57,552.39

## < 日経平均株価推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に 静銀ティーム証券が作成

### < 先月の回顧 >

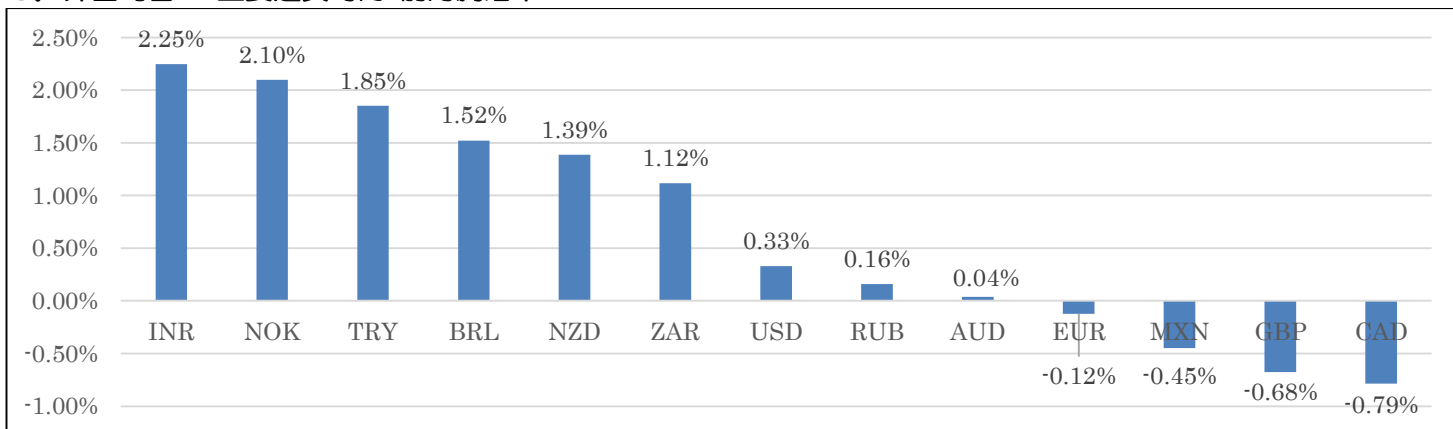
- ① 日経平均株価は前月比+805円上昇(騰落率+2.95%、月末終値 28,089円)。月初の株価は4~6月決算の好調な企業業績から堅調に推移したが、デルタ型のコロナ感染急拡大から20日の日経平均株価は27,013円まで下落し、年初来安値を更新。その後、FRB(米連邦準備理事会)議長の利上げ慎重姿勢などを材料に、日経平均株価は月間では3か月ぶりに上昇。9月3日には菅首相の辞任報道から、日経平均株価は前日比+600円弱の大幅高。
- ② NYダウ(米国株式)は前月比+425ドル上昇(騰落率+1.22%、月末終値 35,360ドル)。7月雇用統計の好調な結果およびインフラ投資法案の上院可決を受け、株式市場は堅調に推移。アフガン撤退および中国の規制強化に対する懸念から、株式相場は下落する場面もあったが、27日の「ジャクソンホール会議」でFRB議長が早期の利上げに慎重姿勢を示したことなどから、30日にはS&P500、ナスダックの主要2指数が揃って史上最高値を更新。

### < 今後の見通し >

- ① 日経平均株価は乱高下の後、年末に向けじり高を予想。首相交代による閉そく感の解消期待およびコロナ新規感染者数のピークアウト観測から一時的な株価上昇を想定するが、首相(自民党総裁)候補の乱立で「短命政権の再来」とのイメージが強まれば調整局面の可能性あり。衆院選後に具体化する補正予算およびワクチン希望者への接種完了を目処に、出遅れ感の強い日本株への資金流入を見込む。
- ② 米国株式は堅調ながら上下に振れる展開を予想。ワクチン接種完了等による景気加速シナリオが、デルタ型コロナウイルスの感染拡大により時間軸の後ずれ修正を想定。米国景気回復は当初期待より鈍化しているが、悪化はしておらず、高値警戒感による利食いおよび仕掛け的な売りをこなしながら、株価の堅調推移を想定。

(今月の予想レンジ) 日経平均株価 27,500 ~ 30,500円 NYダウ 34,500 ~ 36,500ドル

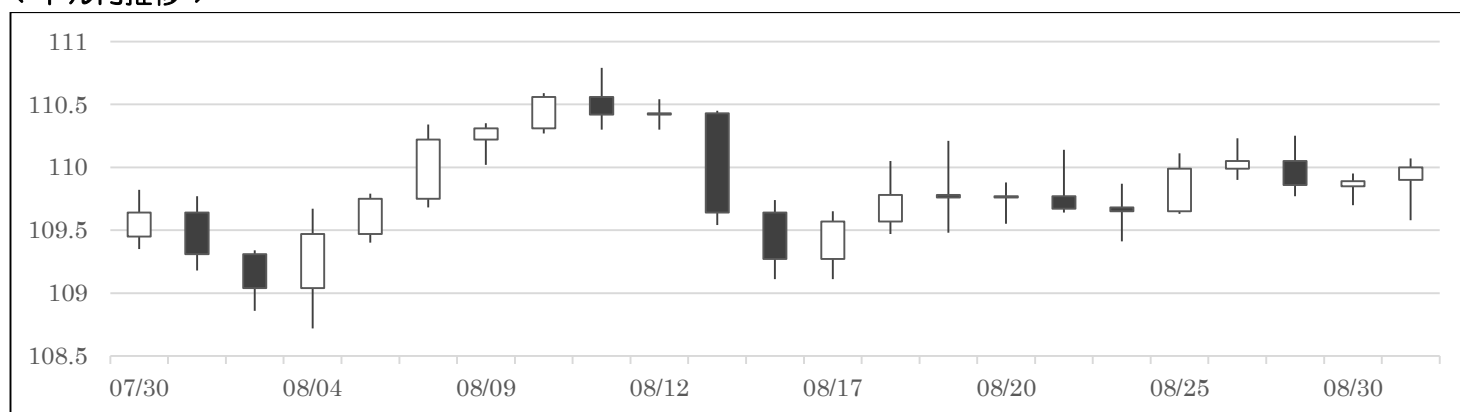
### 3. 外国為替 < 主要通貨対円 前月騰落率 >



### < 主要通貨対円 月末気配レート >

USD	EUR	GBP	AUD	CAD	NZD	NOK	BRL	INR	MXN	RUB	ZAR	TRY
ドル	EU	イギリス	オーストラリア	カナダ	ニュージーランド	ノルウェー	ブラジル	インド	メキシコ	ロシア	南アフリカ	トルコ
110.00	129.91	151.29	80.45	87.18	77.46	12.65	21.35	1.5069	5.4761	1.5003	7.5658	13.21

### < ドル円推移 >



(出所) : QUICK のデータを基に 静銀ティーム証券が作成

#### < 先月の回顧 >

- ① 米ドル円相場は 1 ドル 110 円を挟み狭いレンジで推移 (騰落率+0.33%、月末気配 1 ドル 110 円 00 銭)。F R B 幹部の早期テーパリング (金融資産の購入縮小) を求める意見などから円安ドル高傾向で推移したが、13 日の 8 月ミシガン消費者信頼感指数が、約 10 年ぶりの低水準となったことで 1 ドル 109 円 11 銭まで円高進行。その後は 109 円台の後半でもみ合いの展開。
- ② ユーロ円相場はユーロ安円高で推移 (騰落率▲0.12%、月末気配 1 ユーロ 129 円 91 銭)。ユーロは対米ドルで、一時約 9 か月ぶりの安値を記録。ドイツの経済指標の悪化および引退するメルケル首相の後任を決める 9 月総選挙の混迷気配が影響。その後は、ドル高の一服を背景にユーロは下落幅を縮小。

#### < 今後の見通し >

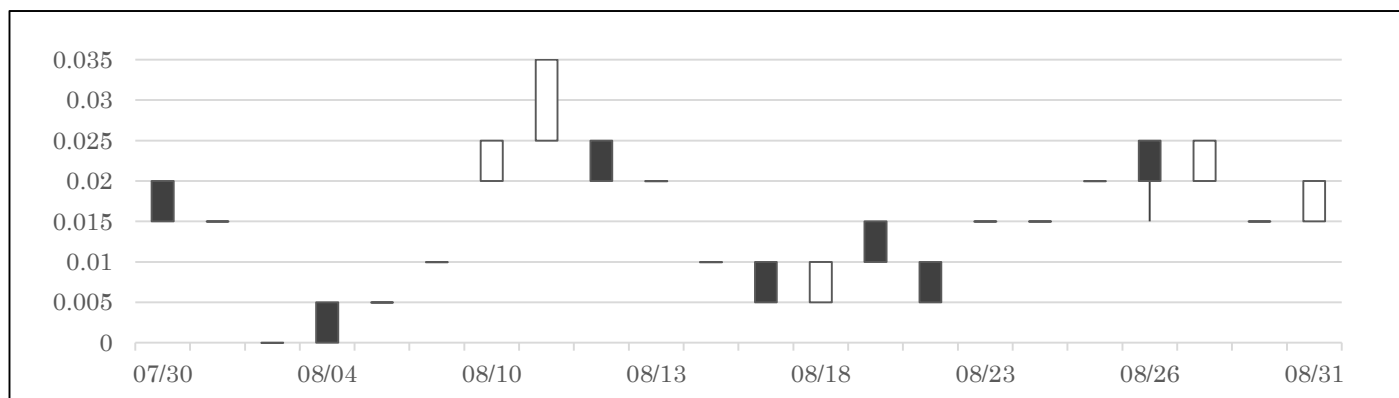
- ① 米ドル円相場は緩やかな円安ドル高推移を予想。日米景況感の格差から円高リスクが後退するなか、アフガニスタン情勢の悪化および景気の回復が想定より遅れる可能性の高まりからドルの上値は重く、狭いレンジでの米ドル高円安基調を想定。
- ② ユーロ円相場は緩やかなユーロ高円安推移を予想。ユーロ圏の 8 月の消費者物価上昇率は、総合が前年同月比 +3.0%と前月 (+2.2%) から上昇し、ユーロ圏 (主要 4 カ国合計) のコロナウイルスの新規感染者数は、8 月初旬ごろをピークに減少傾向にあるため、ユーロの自律反発によるユーロの戻りを想定。一方、ドイツでは 9 月 26 日の連邦議会選挙にて 4 期 16 年務めたメルケル首相の後任を決定するが、複数党による連立政権成立およびその後の政策運営には課題が多く、ユーロ相場の抑制要因。

(今月の予想レンジ) 米ドル円 108 ~ 112 円 ユーロ円 128 ~ 132 円

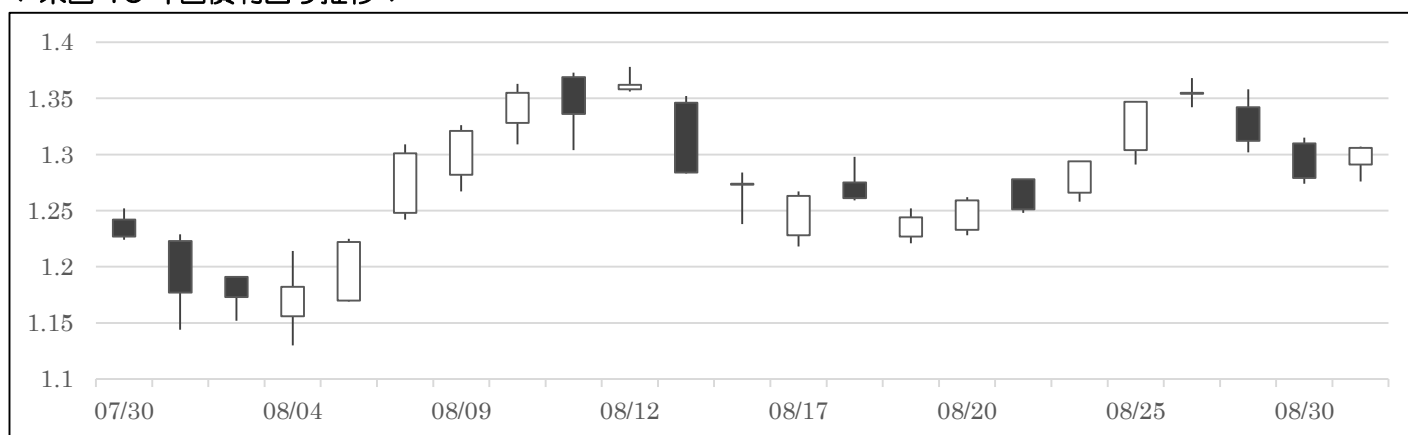
#### 4. 債券 < 10年国債利回り 前月騰落幅 >

	日本	アメリカ	ドイツ	イギリス	インド	ブラジル	メキシコ
10年国債利回り	0.020	1.306	-0.385	0.619	6.2575	10.197	6.953
前月騰落幅	0.005	0.079	0.078	0.055	-0.0645	0.869	0.09

#### < 日本 10年国債利回り推移 >



#### < 米国 10年国債利回り推移 >



(出所)：QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

#### < 先月の回顧 >

- ① 日本 10年国債利回りは、前月比+0.005%上昇（月末値 0.020%）。新型コロナ変異株の感染急拡大による景気下振れ懸念から、日銀の大規模な金融緩和政策の長期化見込を背景に、長期金利は低位でのみみ合いに終始。8月の新発 10年物国債の売買高は、約 21年ぶりの低水準となった 5月に次ぐ閑散状態。
- ② 米国 10年国債利回りは、前月比+0.079%上昇（月末値 1.306%）。FRB のクラリダ副議長などの複数幹部が金融正常化に前向きな姿勢を示したことから、長期金利は上昇。その後、ミシガン消費者信頼感指数の大幅な悪化および「ジャクソンホール会議」での FRB 議長の発言から長期金利は低下。

#### < 今後の見通し >

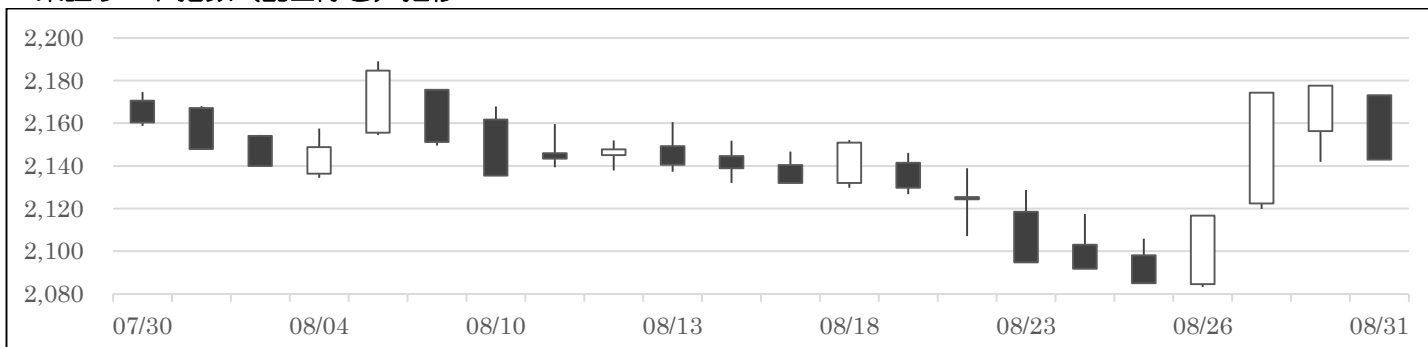
- ① 日本 10年国債利回りは、レンジ内推移を予想。コロナデルタ株の感染急拡大による緊急事態宣言の対象地域の増加から、国内景気の下押懸念が高まっており、長期金利の低位安定推移の継続を想定。
- ② 米国 10年国債利回りは、レンジ内推移を予想。FRB のパウエル議長は「ジャクソンホール会議」にてテーパリング（金融資産の購入縮小）の年内開始が適切としたが、利上げについては慎重な姿勢を表明。講演の 3分の 1 以上を最近のインフレが一過性である可能性が高い理由を列挙しているため、長期金利は横ばい圏推移を見込む。

(今月の予想レンジ) 日本 10年国債利回り 0.00 ~ 0.05% 米国 10年国債利回り 1.20 ~ 1.50 %

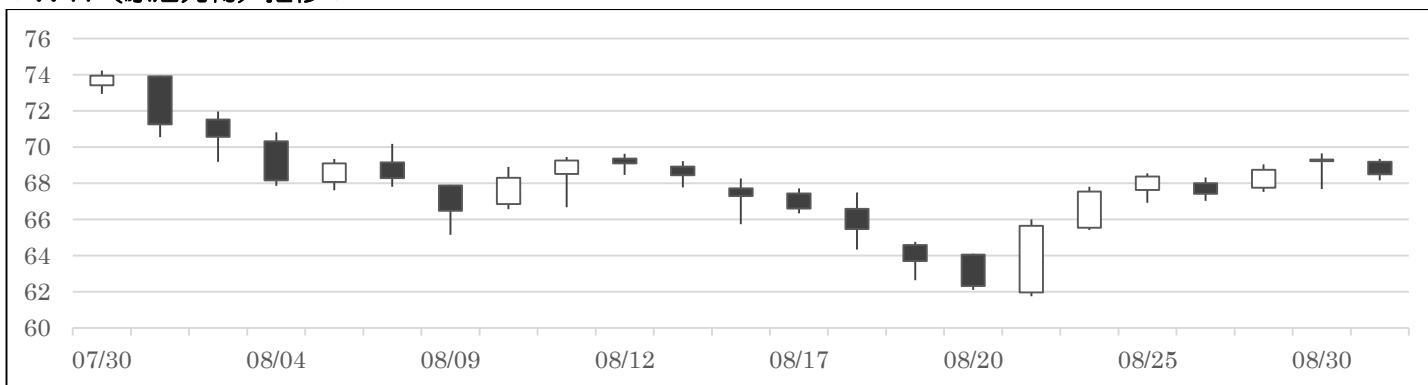
## 5. その他「リート、商品」〈月末気配値または終値及び前月騰落率〉

	リート（配当除き）			商品（米ドル建）	
	東証リート指数	S&P 米国リート指数	S&P 豪州リート指数	原油 WTI 先物	金 COMEX 先物
指数（配当除き）	2,142.91	389.42	171.63	68.5	1,818.10
前月騰落率	-0.81%	1.15%	4.66%	-7.37%	0.05%

### 〈東証リート指数（配当除き）推移〉



### 〈WTI（原油先物）推移〉



（出所）：QUICK のデータを基に静銀ティーム証券が作成

#### 〈先月の回顧〉

- ① Jリート（日本の不動産投資信託）市場の東証リート指数は、前月比▲17.4ポイント下落（騰落率▲0.81%、月末終値 2,142 ポイント）。Jリートは、公募増資の増加による需給悪化懸念およびコロナ感染急拡大による緊急事態宣言の地域増加などから下落。月末にかけて国内株式市場の上昇により、リート市場への自律反発期待が高まり下落幅を縮小。
- ② WTI（原油先物）は、前月比▲5.45ドル下落（騰落率▲7.37%、月末終値 68.5ドル）。コロナデルタ株の世界的な急拡大による原油需要の減少懸念に加え、米ガソリン在庫の予想外の増加から、20日のWTIは1バレル 62.32ドルと5月20日以来の低水準まで下落。その後、世界の主要株式市場の上昇によるリスク選好姿勢の高まりから、買い戻され下落幅を縮小。

#### 〈今後の見通し〉

- ① 東証リート指数は、横ばい圏推移を予想。世界的なデルタ株による感染再拡大の懸念から不動産市場の不透明感（東京都心5区のオフィス空室率17カ月連続上昇、平均賃料12カ月連続減少等）は高まっているが、長期金利の低位安定推移および配当狙いの買いに支えられ、悪化するオフィス市況をカバーする展開を想定。
- ② WTI（原油先物）はレンジ内推移を予想。OPECプラス（石油輸出国機構と主要非加盟産油国）は9月1日の会合で、10月以降の減産計画で合意。協調減産を毎月40万バレルずつ縮小する7月合意の維持を決定。7月に世界需要の約6%にあたる日量580万バレル規模の協調減産が、12月には380万バレルまで減る計画。原油はOPECプラスの需要予測に基づく生産供給による価格調整を続けており、相場の乱高下はあっても一時的に留まり、現状レベルでの推移を想定。

（今月の予想レンジ） Jリート 2,050 ~ 2,250 ポイント      WTI 60 ~ 75 ドル



## 6. 2021年9月のスケジュール

日本		米国		その他	
8日	4-6月期四半期実質GDP 改定値	3日	8月雇用統計	7日	豪準備銀行政策金利発表
8日	7月国際収支・貿易収支	14日	8月消費者物価指数	7日	欧州4-6月期四半期GDP 確定値
15日	7月機械受注	16日	8月小売売上高	9日	欧州中央銀行政策金利
21-22日	日銀・金融政策決定会合	22日	FOMC	17日	欧州8月消費者物価指数 改定値
24日	8月消費者物価指数	24日	8月新築住宅販売件数	22日	ブラジル中央銀行政策金利
30日	8月鉱工業生産・速報値	30日	4-6月期四半期実質GDP 確定値	23日	イングランド銀行金利発表

(出所)：各種報道機関等の情報を基に静銀ディーエム証券が作成

## 7. 事業所案内

支店名	住 所	電話番号	支店名	住 所	電話番号
<b>静岡県</b>					
本 社	〒420-0853 静岡市葵区追手町1番13号 (アゴラ静岡4F)	0120-23-1184	浜松支店	〒430-0944 浜松市中区田町322番地の7 (アゴラ浜松2F)	053-458-7700
本店営業部	〒420-0853 静岡市葵区追手町1番13号 (静岡銀行呉服町支店2F)	054-255-7511	掛川支店	〒436-0056 掛川市中央1丁目22番地の10 (静岡銀行掛川支店2F)	0537-22-0080
静岡駅南支店	〒422-8067 静岡市駿河区南町11番1号 (静銀・中京銀静岡駅南ビル2F)	054-282-5700	磐田支店	〒438-0073 磐田市二之宮東1番地1 (静岡銀行磐田支店2F)	0538-36-1411
清水支店	〒424-0812 静岡市清水区小芝町2番1号 (静岡銀行清水中央支店2F)	054-367-2000	浜松西支店	〒432-8061 浜松市西区入野町9784番地の1 (静岡銀行入野支店1F)	053-449-5500
藤枝支店	〒426-0034 藤枝市駅前1丁目6番4号 (静岡銀行藤枝駅支店2F)	054-645-2110	浜松北支店	〒433-8114 浜松市中区葵東1丁目5番2号 (静岡銀行葵町支店2F)	053-420-1851
島田支店	〒427-0022 島田市本通3丁目6番の2 (静岡銀行島田支店1F)	0547-34-5040	浜北中央支店	〒434-0038 浜松市浜北区貴布祢318番地の1 (静岡銀行浜北支店2F)	053-586-7811
<b>神奈川県</b>					
沼津支店	〒410-0055 沼津市高島本町1番地の1 (静岡銀行沼津駅北支店2F)	055-921-1811	横浜支店	〒220-0011 横浜市西区高島2丁目19番12号 (スカイビル22階)	045-548-4888
熱海支店	〒413-0013 熱海市銀座町14番8号 (静岡銀行熱海支店3F)	0557-83-5081	横浜支店 小田原営業所	〒250-0011 小田原市栄町1丁目1番15号 (ミナカ小田原3階)	0465-46-8113
三島支店	〒411-0838 三島市中田町10番29号 (静岡銀行三島支店2F)	055-972-9100	<b>山梨県</b>		
富士支店	〒417-0055 富士市永田町1丁目70番地 (静岡銀行富士中央支店2F)	0545-51-2211	山梨本店 (4月20日 オープン)	〒400-0031 甲府市丸の内1丁目20番8号 (山梨中央銀行本店2階)	055-244-7821

【作成】静銀ディーエム証券(株) 商品部

佐野 寿宏 (公益社団法人日本証券アナリスト協会 認定アナリスト・日本FP協会認定CFP/1級FP技能士)

### 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために静銀ティーエム証券が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況であり、また、見通し・分析は作成時点での見解を示したものです。したがって、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等は考慮しておりません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の静銀ティーエム証券商品部の見解です。また、静銀ティーエム証券が取り扱う商品における投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

3.85

0.5

2.42

REIT

1

1.21          2,750

1.21          2,750

1.1

# SHIZUGIN TM SECURITIES



**静岡ディーエム証券株式会社**

静岡市追手町1番13号(アゴラ静岡4階) 〒420-0853

TEL.(054)254-6111 FAX.(054)205-1925

URL <http://www.shizuginm.co.jp/>